

「耐震性能の見える化」で差別化 ～耐震設計は間取りから～



日時 2019年 10月18日[金] 13:45~16:30 (受付開始13:25)

会場 群馬県勤労福祉センター(第三会議室)
群馬県前橋市野中町361-2

参加費 無料／先着50名様

●セミナースケジュール

- 第1部 13:45 ~ 14:35 wallstatによる「耐震シミュレーション」とプレカットデータの活用
- 第2部 14:35 ~ 15:05 ARCHITREND ZERO Ver.6iによる意匠設計段階での構造設計のすすめ
- 第3部 15:20 ~ 15:40 耐震面材メーカーによる商品説明
- 第4部 15:40 ~ 16:00 平方木材による構造チェックサービスのご案内
- 第5部 16:00 ~ 16:20 「住宅リフォーム事業者団体登録制度」のご案内

※定員になり次第締め切らせていただきます。※セミナー内容は一部変更になる場合もあります。

地震の度に家屋が倒壊、損傷し、多くの人命が奪われ、被害を少なくするための建築法規の整備、基準の強化が進み耐震性能向上の努力が続けられてきました。しかし、2016年の熊本地震では1981年以前の建築の旧耐震の木造住宅に加え、新耐震以降に建てられた建物にも被害が生じました。基準法の壁量計算は最低基準の倒壊防止を目的としており、倒壊は免れても多大な建替え、補修の費用を強いているのが実情です。

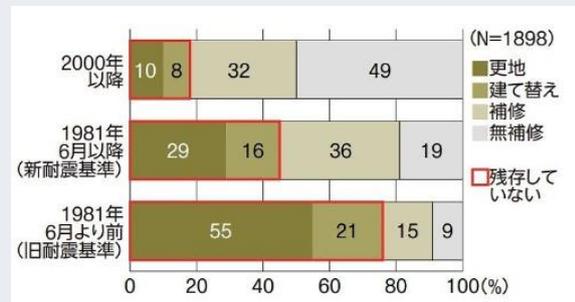
倒壊防止だけではなく、「大地震後も継続使用できる性能等」が施主が求める性能のはずです。

このような現状の中、構造用合板や制振壁、CLTパネルといった耐震性を高める製品がどんどん商品化されています。

これらを使うことでどこまで耐震性が高まるのか、どこにどれだけ配置すれば良いのか、どの程度の地震の大きさまで倒壊しないのかを**プラン段階で事前に把握し、施主に提案する。**

これこそが真のプレゼンテーションではないでしょうか？

【2016年熊本地震から2年後の調査】



出典：日経XTECH

■参加お申し込みは【FAX】で 下記に必要事項をご記入いただきFAX送信をお願いします。

平方木材 FAX.027-261-0254 久住行き

貴社名	TEL	FAX
ご住所	E-Mail	
氏名①	氏名②	

【共催】

平方木材株式会社

〒379-2154 群馬県前橋市天川大島町1248
https://hirakata-m.co.jp/
【本社】027-261-0216

福井コンピュータアーキテクト株式会社

本社：〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6
https://archi.fukuicompu.co.jp
【福井コンピュータグループ総合案内】ナビダイヤル0570-039-291

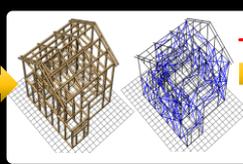
倒壊解析シミュレーション「wallstat」とは？

wallstat（開発者：京大生存研 中川准教授）を使えば、パソコン上で木造住宅の数値解析モデルを作成し、振動台実験のように地震動を与え、最先端の計算理論に基づいたシミュレーションを行うことで、変形の大ささ、損傷状況、倒壊の有無を視覚的に確認することが可能となります。

wallstatは無料でご利用いただけます。



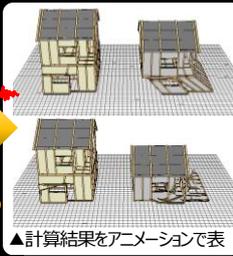
▲対象の木造住宅



▲パソコン上で三次元モデル化



▲解析モデルに地震動を加える



▲計算結果をアニメーションで表



▲損傷状況の表示

損傷 小 ■■■ 大



操作は簡単です！これだけの解析がパソコンでどなたにでも使っていただけます。

活用方法1

■プランニングで使う

お客様のプラン提示の際に、事前に耐震性能を把握することができます。地震の弱い大空間や広い開口、複雑な形状など、お客様の要望に対する確かなアドバイスが可能となります。

活用方法2

■プレゼンで使う

プラン確定の際に、お客様への耐震性能の説明において「耐震性能が見える化」することで、わかりやすく説明責任が果たせます。数値の羅列では得られないわかりやすさは、お客様との信頼関係にも繋がります。

活用方法3

■リフォーム・改修でも使える

竣工時の構造図を住宅履歴などで保管しておけば、リノベーション時にも耐震性能を考慮したプランニングが出来ます。また、地震における災害時にも、どの壁が耐震性能が劣化したかがわかるため、補修工事にも役立ちます。

これは使える！

接合金物や耐力壁は、wallstatに対応したメーカーパラメータを使えば、実際の資材強度で計算もできます。※制振ダンパーやCLTにも対応



意匠段階での耐震チェック機能を強化！「ARCHITREND ZERO Ver6」

●耐震チェック



耐力壁仕様と目標等級を揃うだけで自動判定



1階：床耐力が不足している領域があります

直下率チェック

耐震等級チェック

構造チェック

意匠検討段階から耐力壁等のバランスを考慮し、耐震等級の検討が可能な新機能「耐震チェック」を搭載しました。

●wallstat連携強化

ARCHITREND ZERO
平面図

木造住宅倒壊解析ソフトウェア
wallstat



ダイレクト起動

耐震性が見える化！

平面図からダイレクトに「wallstat」に連携して、耐震性能を視覚的に確認できます。耐震の専門知識を持たない施主にもわかりやすい説明が可能です。

耐震設計はこう変わる！

